



全教北九州

新聞 全教北九州
全教北九州市教職員組合
発行責任者 永吉孝一
2022年12月25日

全教北九州 検索 「先読み加配」 特集 この新聞はすべての教職員に配布しています

産休・育休代替教員確保のために「先読み加配」を具体化しよう

文科省「先読み加配」に関する事務連絡文書を发出

文部科学省は、22年11月1日付事務連絡文書「産・育休代替講師に安定的確保のための加配定数による支援について」を发出しました。これにより5月から7月末までに産休・育休を取得する要員がいる場合、少人数指導教員などの加配定数を使用し、4月から代替教員を配置できるようになります。

全教北九州市教職員組合は、教育委員会に対しいくつかの県での実施状況を紹介し、北九州市でも早急に具体化するよう交渉してきました。

「先読み加配」とは

慢性的な教員不足から、年度途中での代替教員の確保が困難になっています。「先読み加配」とは、1学期に産休・育休取得する見込みがある教員の代替者を比較的確保が容易な4月当初から先行して配置する制度のことです。

今回の事務連絡は、小・中学校と特別支援学校の小学部・中学部を対象とし、5月から7月末までに産休・育休を取得する教員（男性、学級担任以外の教員も対象）がいる学校に4月から前倒しで代替教員を配置する場合に、前倒し期間の加配定数を措置する支援を行うというものです。

メリットが多い「先読み加配」

今回の措置は、先読み加配を先行実施してきた自治体の取り組みと現場の声を一定反映したものであり評価できます。

産・育休取得予定者の後任の教員があらかじめ加配されていることで、「必要な引継ぎも円滑に行えるので本人も職場も安心感を持てた。」

「産・育休の取得が言い出しやすくなった。」と現場では好評です。

子どもや保護者にとっては、学期の途中で学級担任が交代する不安がなくなるメリットがあります。

また、代替教員が見つからないことが要因のひとつとなっていたマタニティーハラスメントをなくすことも期待できます。さらに男女ともに仕事と育児等を両立できる職場環境の整備にもつながります。

「妊娠者の母体保護」の観点が重要

文科省は今回の措置についての趣旨を「教員不足を解消する一助となるよう行うもの」としています。

しかし全教日本教職員組合（全教）ではあくまで「妊娠者の母体保護」の観点から要求し続け、妊娠が判明した時点での「先読み加配」を求めてきました。

全教は今後も要件・期間の拡充を求めていくとくみ方をすすめていきます。

ゆとりをもった配置と予算措置が必要

今回の措置でも23年度は加配定数の総数を増やさないため、代替教員に少人数指導やT・T、児童生徒支援加配などの加配教員を充てることとなります。

北九州市の場合、加配教員の多くが既に少人数学級の実施に振分けられているため、代替教員を確保する余裕はありません。これでは教員不足の解消は困難です。

教育委員会は、今後の産休・育休の取得者の増加などを見越した計画的な定数配置などの工夫とそのため予算措置が必要と見ます。

「先読み加配」の23年度からの実現を求め

全教北九州は、産休・育休に限らず病休など不測の事態が生じても、行き届いた教育ができるようになるために、ゆとりをもった教員配置ができるようこれからも北九州市に要請を継続します。また全教とともに国・文科省への要請も継続します。

さしあたって教育委員会には、制度の実現に向け、23年7月末までの産休・育休予定者の正確な人数把握と申請に見合った加配の措置を行うよう要求します。

特に「正確な人数把握」は重要で、文科省は、各自自治体に対する加配措置数は、全体の申請状況を踏まえて決定するとしています。人数が増加する可能性なども考慮した報告をするよう求めます。

北九州の戦争遺跡

メモリアルクロス (小倉北区)

朝鮮戦争中、連合軍が接収した旧小倉陸軍兵器支廠では、朝鮮半島から送られてきた死亡した兵士の遺体処理が行われていました。その作業にYMCA (キリスト教青年会) の学生も従事していました。彼らは、小倉に駐留していた米軍に慰霊碑建設を働きかけました。

働きかけが実を結び、1951年、小倉に駐留していた米軍の司令官達により足立山中腹に高さ約20メートルの十字架が設置されました。正式には「UNITED NATIONS MEMORIAL CROSS (国際連合軍記念十字架)」とい

い、十字架は朝鮮半島の方向を向いていると言われています。設置当初は小倉市街地から十字架全体が見えていましたが、後に倒壊したときに直下の住宅地に被害が及ばないよう山側に約50メートル移設され、また周辺の樹木が成長したため現在は十字架の先端が僅かに見えるだけとなっています。

**職場を基礎に、要求を練り上げ実現へ
全教のとりにくみをすべての教職員に伝え、組合加入をすすめてよう！**

全日本教職員組合（全教） 中央執行委員長 宮下直樹



一人ひとり
の子どもに
寄り添い奮
闘すること
もに、教職
員の生活と権利を守るとりにくみを
すすめるすべての組合員の方
に心から敬意を表します。

授業で新しい発見に出会った
ときの目の輝きや、ふとした会
話の中に滲む悩み。子どもその
のひとつひとつに出会うとき、
教職員としての誇りと責任を感
じます。人間的な関わりあいをも
つてその成長・発達に携わる

この仕事に、私は限らない魅力
を感じます。教育の専門職とし
ていきいきと働き続けることが
できる職場をつくりたいし、若
い方々とも共有したいと思いま
す。

物価高騰やマスク越しの制約
された生活は、特に困難な背景
を持つ子どもたちに深刻な影響
を及ぼしています。思いや悩み
を内にしまい込む子もいます。
子どもが意見を表明する権利の
意味を、否定的ふるまいも含め
まるごとくえたいと思います。
しかし、子どもたちの実態や

**教職員の仕事は増えるばかり
ともに働きやすい職場をつくりましょう**

全教北九州市教職員組合 執行委員長 新屋智子

ウィズコロナと
なった学校現場では、
対面授業とオンライン
配信を同時に行っ
ています。子どもた
ちの学習保障は行え
ますが、一方で教員
には大きな負荷がか
かっています。全国
学力テストに向けて
と思わざるを得ない
市の学力状況調査も
年々負担感を増して

います。教員不足の
学校現場には増やさ
れることばかりで何
か減ることはないの
でしょうか。

25年前と比べれ
ば、総合的な学習の
時間や外国語、道徳
が教科として加えら
れました。仕事が増
えているのに教員は
増えるどころか足り
ない。教員を職業と

して選択する人が減っ
ていることに明瞭な
打開策が講じられな
い。これはもどを手
繰れば「教育予算」
を増やさないとこと
に行きつきます。

子どもたちとゆっ
くり向き合いたい、
勤務時間内に仕事を
終えたい、この当た
り前の思いを実現し
ていきたいものです。

多様性と向き合い包摂するには
教職員にゆとりが必要で。昨
年は全教の調査も契機に教員未
配置問題が顕在化しました。教
育の自由を奪い長時間過密労働
をまねいた政策の破綻と言えま
す。抜本的教職員増や待遇改善
教職員に自由を取り戻すことは、
豊かな教育を保障することでも
あります。今年、教員の勤務の
あり方を定める給特法改正を求
めるたたかいが求められます。

今、憲法改悪とともに、軍事
費二倍化等の大軍拡や「敵基地
攻撃能力」保有などの動きが加
速しています。戦前の日本が戦
争につきすすむ中、教員が子ど
もたちを戦場に送り出す役割を
担った事実を忘れるわけにはい
きません。「教え子を再び戦場
に送るな！」の誓いのもと、
「軍事費削って、教育予算を増
やせ！」の声をあげることを呼
びかけます。

すべてのたたかいを職場から
スタートしたいと思えます。組
合活動の原点は職場の要求実現
であり、その力は教職員の団結
です。その要となり道すじを示
しとりにくむ全教の姿・役割をす
べての教職員に知らせ、組合加
入をすすめる1年としたいと思
います。どうぞよろしくお願
いします。

お金のことを心配せず進路のことを考えたい

12月9日 教育全国署名集約集会



国会への提出は2月の予定
です。集会に先立ち、国会
議員への要請行動も行いま
した。

集会では、私学助成の運
動を行っている高校生の発
言が毎年心に突き刺さりま
す。勉強やスポーツに励み
たい大事な時期に、「お金
のことを心配せずに進路の
ことを考えたい」と署名を
集めて回る高校生。この国
は、子どもを大事にしてい
ない。子どもを大事にしな
い国に未来はないぞ！と思
います。でも思いを素直に
表現する高校生の目は輝い
ています。今年の署名は、この
日までに2453604筆集ま
りました。国会提出までまだま
だ集めていきましよう。

政令都市組合交流会



12月10日
(土) 11日
(日) 川崎
市で、政令
指定都市の
組合学習交
流会がオン
ラインを併
用して川崎
市で行われ

北九州市から1名が参加しまし
た。共通した教員不足、GIG
Aスクールによる過重労働の実
態を出し合うとともに、確定交
渉での賃金・権利の到達につ
いて情報交換をしました。

広島市では介護休暇が3年に
延長。他都市では育児のために
一旦退職した人のための再採用
制度があるところもあります。
多くの人が長く働き続けるため
の制度の構築が必要です。